

(第3種郵便物認可)

地域おこしの酒 今年も

「寿一番星」松本・寿台の有志が醸造

地元産の日本酒「寿一番星」を完成させた寿一番星倶楽部のメンバー



「地域おこしの酒」として、松本市寿台地区の住民有志が隔年で作っている日本酒「寿一番星」が完成した。地元産の酒米を使い、

老舗酒造店・笹井酒造（松本市島内）が伝統製法で醸造した純米原酒で、10月1日に市内の酒店などで販売される。

寿一番星は、平成20年（2008）年から5年間、寿台公民館を会場に行われた利き酒講座の受講者が「自分たちで日本酒を造りた

い」と考え、「寿一番星倶楽部」と名付けた有志の会を立ち上げ、地元の農業団体などと協力して酒づくりをしている。今年もアルコール度数17度の純米原酒を完成させた。通常だど完成を祝い、地元住民で試飲する会を開いていたが、今年

は新型コロナウイルスの影響もあって見送り、同市深志3の深志神社で完成を祝い、悪疫退散を祈願する神事を行った。

今年度の寿一番星につ

（小口浩二）

安保廃止へ抗議活動

松本駅前でも有志30人

「本気でとめる戦い」として、争い！中信市民連合」なプラカードなどで通行どは19日、松本駅前では、安全保障関連法が成立して5年が経過したことに対し「安保法制の廃止を求めるスタ

いて、倶楽部のメンバーで利き酒師の吉村結城子さん（40）は「和食だけでなく洋食にも合う最高の食中酒になった」と評価する。数量限定で720ミリリットル入り1260円、1800ミリリットル入り2560円で、市内の北原酒店、高山酒店、橋詰商店、ファーマーズガーデンうちだで取り扱う。寿一番星の問い合わせは笹井酒造（☎0263・47・0762）へ。